



2020年1月24日

各 位

会 社 名 クックパッド株式会社
代表者名 代表執行役 岩田 林平
(コード番号: 2193 東証第一部)
問合せ先 執行役 犬飼 茂利男
電話番号 03 (6368) 1000

減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2019年12月期の連結決算（国際会計基準、以下IFRSという）及び個別決算（日本基準）において、減損損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 減損損失の内容

(1) 連結決算（IFRS）における減損損失の計上について

当社は2017年より10年間を長期的な企業価値向上のための投資期間と定めています。海外事業におきましても、当該方針に基づいて進出するそれぞれの国において、圧倒的No.1のポジションを実現すべくチャレンジを行ってまいりました。この度、現状を鑑みて事業計画を再度保守的に検討し、プロダクトそのものの充実、開発に伴う採用強化、コミュニティの充実に繋がる熱狂的なファンの獲得等、グローバル一体となってプロダクト開発に集中すべきであるため、個別の国単位でのマネタイズをグローバルプラットフォーム充実の価値判断の軸としないこととしました。IFRSに基づく減損テストを実施した結果、当社の海外連結子会社ののれん全額であるCookpad Rus LLC(ロシア)、Cookpad Greece Single Member Private Company(ギリシャ)及びCookpad Hungary kft (ハンガリー) 総額769百万円について、減損損失を計上することになりました。

(2) 個別決算（日本基準）における減損損失の計上について

当社が個別決算上認識しているのれん全額であるCookpad Greece Single Member Private Company(ギリシャ)及びCookpad Hungary kft (ハンガリー) 総額209百万円について、保守的に回収可能性を検討した結果、減損損失を計上することになりました。

2. 今後の見通し

当社は、2019年12月期の連結決算（IFRS）において、減損損失769百万円をその他の費用（営業内）に計上する見込みです。

また、2019年12月期の個別決算（日本基準）において、減損損失209百万円を特別損失に計上する見込みです。

これに伴う将来のキャッシュフローへの影響はありません。

以 上